

令和3年度
北海道教育大学
附属函館幼稚園だより
NO. 16【号】



第51回 卒園の14名の皆さん！

ご卒園おめでとうございます

副園長 藤谷 毅

温かな陽ざしが園舎の赤い屋根に反射し、日一日と春めいてきています。卒園する子供達を前にすると、嬉しさ半分、寂しさ半分の複雑な季節がまた訪れました。今年度も新型コロナウイルス感染症に振り回されることの多い状況の中、本園の活動・対応にご理解やご協力、そして多くのご支援を賜りましたこと深く感謝申し上げます。思わぬ困難な日常の中ですが、ゆき組の子供達は進学への期待と夢にあふれた顔に、確かな成長と、未来の課題解決に果敢に挑む挑戦者の姿を感じます。ご卒園おめでとうございます。

3年前に入園してきたみなさんは、なかなか保護者の方から離れられない子、そんな子の面倒を見る子、ずっと前から本園に通っていたのではないのかというくらい馴染んで跳んで跳ねて走り回っている子……。恐るべし！このパワー！！それが最初の感想でした。

それが少しずつ少しずつ落ち着いていき、毎日一人二人と先生の話聞ききちんと座っていられるようになっていきました。恐るべし！この成長！！



つき組(年中)になるときに1名転園してしまい寂しい気持ちとなりましたが、1名2名3名と加わり、つき組では更なるパワーアップ。ゆき組(年長)になるときにはさらに3名を加え、更に更にパワーアップ。今までとは違った人間関係。今までとは違った発想。今までとは違った行動力。その14名の融合で、恐るべし！この良い具合の化学反応！！

ゆき組(年長)では最上級生としての自覚が生まれ、同級生や下級生への優しさをもった行動ができるようになり、「自分たちなら出来る」というプライドをもった行動が出来るようになってきましたね。恐るべし！この年長パワー！！私たち教職員は驚かされてばかりの、そして日一日と変化し成長する姿を、楽しさと期待をもって成長を見守ることの出来た3年間でした。



そして卒園される皆さん。卒園される皆さんは卒園してもいつまでもいつまでも、この附属函館幼稚園の子供です。小学校で楽しいとき、嬉しいとき、悲しいとき、困ったとき、元気がほしいとき、いつでも幼稚園を尋ねてきて下さい。待っていますよ。

結びになりますが、今年度も新型コロナウイルス感染症蔓延予防のため、運動会が実施できなかったり、参観日も園内に入ることが出来ずZoom配信で合ったり、園外保育も園児のみでの行事となったり、ちびっこまつりも例年とは違った形であったり、お遊戯会もDVDとミニミニ発表会の形で見えたり、その他の行事や日頃の活動もYoutubeやHPの「園生活の様子」での配信だったりこれまでとは違った形での実施となりました。保護者の皆様のご期待に十分に答えることができず大変申し訳ございませんでした。しかし、これまでのゆき組の保護者の皆様のご協力やお力添え、アイデアによって、子供達を笑顔で送ることができました。本当にありがとうございました。そして、様々な面で大変お世話になりました。紙面を借りて御礼申し上げます。